

平成25年第1回定例会(第4日目) 2013. 2. 22

発言順: 1 やしろ美香 (自由民主党・仙台)

| 質問 | ①事前・ 現場調査 (0~4点) | ②他都市 との比較 (0~2点) | ③改善案 (0~3点) | 合計 |
|--|------------------------|------------------------|----------------|----------|
| 1: 仙台市のICTについて <ul style="list-style-type: none"> ・戸籍事務の電算化の着手が遅れた理由 ・現在の状況と今後の見通し ・仙台市の各税証明書のコンビニでの発行についての検討状況 ・電算化に対応した人材の活用 ・セキュリティ対策 ・ホームページでの情報提供の遅れ ・ソーシャルメディアを利用した市民とのコミュニケーション ・ホームページの評価, ICT-BCB | 2 | 0 | 2 | 4 |
| 2: 支倉常長出帆400年 <ul style="list-style-type: none"> ・慶長遣欧使節団についての市長の評価 ・慶長遣欧使節関連資料がユネスコ記憶遺産とされた場合の展示方法とイベント ・観光資源としての活用 ・スペイン友好関係400年記念行事への積極的関与 ・スペインの姉妹都市平成使節団の企画 | 1 | 0 | 1 | 2 |
| | 3 | 0 | 3 | 6 |

【コメント】

1⇒ICTの推進と問題点を多角的にとらえた優れた質問

平成25年第1回定例会(第4日目) 2013. 2. 22

発言順: 2 加藤けんいち(市民フォーラム仙台)

| 質問 | ①事前・ 現場調査 (0~4点) | ②他都市 との比較 (0~2点) | ③改善案 (0~3点) | 合計 |
|--|------------------------|------------------------|----------------|-----------|
| 1: 地域防災計画について ・地域での自主的な防災・減災の取組に対する支援強化 ・外国からの武力攻撃などに対する日頃からの周知・啓発 ・原子力災害対策編と不足している情報受信の窓口体制と情報分析に必要な専門的知識, それについての副市長の認識 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 2: ソーシャル・ネットワーキング・サービスの活用 ・震災時の教訓 ・仙台市全体の行政改革への寄与 ・市全体としての解説の必要性 | 1 | 1 | 2 | 4 |
| 3: 仙台市青少年育成推進指導員連絡協議会への支援 ・宮城県への働きかけ等の支援策 ・教育委員会の後援 | 1 | 0 | 1 | 2 |
| 4: 適正な土地利用 ・水資源保全に向けての宮城県との連携 ・市独自の取組みの必要性 ・外資による投機的な土地買収の実態 ・固定資産税等の徴収に係る課題 ・安全保障や市民の財産を守る視点からの市独自の取組の必要性 | 1 | 1 | 2 | 4 |
| | 3 | 2 | 5 | 10 |

【コメント】

2・4⇒具体的で優れた質問

平成25年第1回定例会(第4日目) 2013. 2. 22

発言順：3 鈴木勇治(復興仙台)

| 質問 | ①事前・ 現場調査 (0～4点) | ②他都市 との比較 (0～2点) | ③改善案 (0～3点) | 合計 |
|---|------------------------|------------------------|----------------|----|
| 1：認知症対策について ・超高齢化社会についての市長の見解 ・市内の認知症の人の数、今後の推移 ・地域対象の具体的内容と今後の取り組み ・地域包括支援センターの認知症対応力の向上と専門家の配置 ・認知症のサポーターの養成状況と積極的活用 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| 2：動物の愛護行政について ・犬や猫の引き取り数の削減と数値目標 ・飼い主のいない猫の不妊去勢手術の啓蒙と周知の徹底 ・災害時のペット対策と災害時を想定した訓練 ・動物管理センターから動物愛護センターへの名称の変更 | 0 | 1 | 1 | 2 |
| 3：震災廃棄物の処理 ・採算割れ等の相談の有無、内容 ・発注方法と適正をチェックする仕組み ・報道されたケースの業務実態調査の内容 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 4：農業対策 ・津波被害を受けた東部地区の復興に向けた農業経営基盤強化の促進に関する基本構想の改正とその目標と取組 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 5：仙台市農業園芸センターの見直しについて ・事業成果の評価、見直しを行う理由 ・イベント継承の必要性についての認識 ・生産技術向上に繋がる事業としての今後の進め方 ・努力してきた財団職員の処遇 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 6：秋保及びその近隣地区で展開が予定されている地元六次産業を後押しする事業への支援の必要性 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 7：平成24年度の運動部の活動(東北・全国大会の昨年度との比較)、学校の部活動における大会派遣補助の改善の検討状況 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 0 | 1 | 2 | 3 |

【コメント】

1⇒「市内の認知症の人の数・今後の推移」「地域支援の具体的内容」「サポーターの養成状況」等仙台市が現に行っている認知症対策の実情をまず調べて、その問題点を把握することが必要。他都市との比較も必要。
3⇒採算割れの相談の有無、内容は事前に担当者に確認し、仙台市の発注方法の問題点を調査し、具体的改善案を提示して質問すべき
4⇒これも「目標や今後の取組」をまず担当者に確認し、問題点を取り上げる形で質問すべき
5⇒「見直しを行う理由」は事前の調査でわかるはず。議会でわざわざ質問する事項ではないのではないか。

平成25年第1回定例会(第4日目) 2013. 2. 22

発言順：4 佐藤和子(公明党仙台市議団)

| 質問 | ①事前・ 現場調査 (0～4点) | ②他都市 との比較 (0～2点) | ③改善案 (0～3点) | 合計 |
|--|------------------------|------------------------|----------------|-----------|
| 1：市民側に立った復興事業 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 2：市民協働の地域の足の確保について ・「青山くん」の検討状況 ・地元検討会とまちづくりアドバイザー等の派遣 ・「青山くん」の今後の取組み | 0 | 0 | 1 | 1 |
| 3：八木山動物公園の再整備計画について ・バリアフリー化 ・エコの取組 ・今後の動物公園づくり | 2 | 1 | 2 | 5 |
| 4：不育症について ・認知度を上げるために周知普及啓発に力を入れるべき ・不妊症と同様の経済的支援の必要性 | 1 | 0 | 1 | 2 |
| 5：地下鉄女性専用車両とアンケート調査の早期実施の必要性 | 1 | 1 | 1 | 3 |
| 6：生活復興プロジェクト ・みなし仮設住宅に居住する方々の見守り支援 ・福島の被災者の見守り支援 ・福島の被災者の賠償関連情報の掲載 | 1 | 0 | 1 | 2 |
| | 5 | 2 | 6 | 13 |

【コメント】

2⇒「青山くん」の検討状況等は事前に担当者に確認する必要がある。
3⇒現場調査を踏まえ、他の動物園との比較も行い、具体的改善案を伴った優れた質問。

| 質問 | ①事前・ 現場調査 (0~4点) | ②他都市 との比較 (0~2点) | ③改善案 (0~3点) | 合計 |
|--|------------------------|------------------------|----------------|-----------|
| 1: 国に対し浸水区域被災者の交付金の増額を求めるべき | 0 | 0 | 1 | 1 |
| 2: 国の交付金によって浮いた財源によって追加支援を行うべき | 0 | 0 | 1 | 1 |
| 3: 浸水区域の移転先の造成やライフラインの整備に市が責任を持つべき | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 4: 現地再建者への支援拡大 ・かさ上げ等への助成の基準の緩和と対象の拡大 ・利子補給などの選択付きメニューの導入 | 2 | 0 | 1 | 3 |
| 5: 市の独自支援策の問題点(直接支援が少なすぎる) | 1 | 1 | 1 | 3 |
| 6: 津波浸水区域の被災者が元の地域に住み続けられるように支援を拡大するべき(東部道路の東側はせめて支援の対象にするべき) | 0 | 0 | 1 | 1 |
| 7: 浸水区域からの移転者に対し、戸建てや長屋式の復興公営住宅も作るべき、現地再建地域にも復興公営住宅を作るべき | 1 | 0 | 1 | 2 |
| 8: 津波避難施設について ・寒さ対策 ・集会所を兼ねた避難施設 | 1 | 0 | 1 | 2 |
| 9: 避難行動について ・自動車の避難の割合がもっと高い場合を想定して、道路上の車の台数を減らす工夫 ・徒歩避難が100%になる場合を想定した津波避難施設の整備 ・避難訓練の繰り返しの必要性 ・災害危険区域の津波避難施設 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| | 5 | 1 | 8 | 14 |

【コメント】

3⇒「責任を持つ」とはどういうことか。課題を突き詰め、できることとできないことを区別し、できることの実施を求めるべき。
7⇒[3]と同様、提案の実現可能性をもう少し突き詰めて検討し、少なくともこれはやれるという案を提示するべき。
9⇒自動車による避難者が多い場合の対策として「道路上の車の台数を減らす工夫」だけでいいのか、専門家の協力を得て総合的に研究するべき。

平成25年第1回定例会(第4日目) 2013. 2. 22

発言順：6 相沢和紀(社民党仙台市議団)

| 質問 | ①事前・ 現場調査 (0~4点) | ②他都市 との比較 (0~2点) | ③改善案 (0~3点) | 合計 |
|---|------------------------|------------------------|----------------|----|
| 1：東六郷小学校の存続の表明の必要性和一日も早い校舎の復旧 | 1 | 0 | 1 | 2 |
| 2：農地と農業の再生 ・農機具リース事業の5億1000万円の繰越額発生の事情 ・再生を図っていく方法 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 3：仙台市天文台の運営について ・仙台市の役割についての基本的認識とどのような方法でフィードバックあるいはチェックしていくのか ・学校の授業との有機的な関わりと充実化 ・天文普及事業の継続の決意 ・老朽化したベガ号の更新 ・スペシャルプラネタリウム「千夜一夜物語→ベリーダンスと古代エジプトの星空」(高校生以下入場不可)についての教育委員会の企画目的と対処 | 1 | 0 | 2 | 3 |
| 4：仙台のタベについて ・仙台ブランドの食材のアピール方法 ・2014仙台のタベに向けた市長の決意 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| | 2 | 0 | 4 | 6 |

【コメント】

2⇒農機具リース事業の5億1000万円の繰越額発生の事情は担当者に事前に確認して質問する必要がある。
3⇒天文台の抱える課題を整理し、改善案を伴った優れた質問。

平成25年第1回定例会(第4日目) 2013. 2. 22

発言順: 7 及川英樹 (みんなの党・みんなの仙台)

| 質問 | ①事前・ 現場調査 (0~4点) | ②他都市 との比較 (0~2点) | ③改善案 (0~3点) | 合計 |
|--|------------------------|------------------------|----------------|----|
| 1: 本市の精神症患者対策について ・躁鬱症等についての当局の対応と対策 ・相談者からのSOSを早期に受け止めるための手段の必要性についての当局の考え ・ワーク支援を終えての社会復帰の状況の把握と追跡調査の必要性 ・園芸療法 | 1 | 0 | 1 | 2 |
| | 1 | 0 | 1 | 2 |

【コメント】

1 ⇒ 仙台市の精神症患者対策の現状の調査結果と他都市の対策を比較して他都市が実施している先進例を紹介して質問すべき。